

令和元年度第4回岐阜県地方独立行政法人評価委員会

－ 議 事 要 旨 －

1 日 時 令和2年1月30日(木) 9:55～11:07

2 場 所 岐阜県庁 議会東棟2階 第2面会室

3 出席者

[委 員] 岩間委員長、地守委員、渡部委員

[専門委員] 田中専門委員（県立病院関係）、山岡専門委員（県立看護大学関係）

[法 人]（地方独立行政法人岐阜県総合医療センター） 滝谷理事長兼院長、
水野副理事長兼副院長兼事務局長ほか
（地方独立行政法人岐阜県立多治見病院） 近藤理事長兼院長、
松葉副理事長兼副院長兼事務局長ほか
（地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院） 山森理事長、岩佐理事兼事務局長ほか
（公立大学法人岐阜県立看護大学） 佐藤理事兼事務局長ほか

[設立団体]（岐阜県） 兼山健康福祉部長、堀健康福祉部次長、伊藤医療整備課長、
森医療福祉連携推進課長、若原看護対策監、山田医療企画係長ほか

4 議事等

（1）看護大学関係審議

[議題1] 評価実施要領の変更について

（2）共通審議

[議題2] 公立大学法人岐阜県立看護大学、地方独立行政法人岐阜県総合医療センター
の役員報酬等支給基準の変更について

（3）共通報告事項

[報告] 公立大学法人岐阜県立看護大学、地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・
岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の業務方法書の変更について

（4）県立病院関係審議

[議題3] 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立
下呂温泉病院の第3期中期計画（案）について

5 配布資料 次第、名簿、配席図、資料1-1、1-2、参考、資料2-1、2-2、報告、資料3

6 議事要旨

議事概要

[議題 1] 評価実施要領の変更について

資料 1-1 及び 資料 1-2 に従い事務局から説明

質疑応答

なし

【岩間委員長】

ご意見・ご質問がなければ、評価実施要領の変更について（案）のとおり決定してよろしいか。

（異議なし）

[議題 2] 公立大学法人岐阜県立看護大学、地方独立行政法人岐阜県総合医療センターの役員報酬等支給基準の変更について

資料 2-1 及び 資料 2-2 に従い事務局から説明

質疑応答

なし

【岩間委員長】

ご意見・ご質問がなければ、公立大学法人岐阜県立看護大学、地方独立行政法人岐阜県総合医療センターの役員報酬等支給基準の変更について、当委員会として意見書(案)のとおり知事に提出してよろしいか。

（異議なし）

[共通報告事項] 公立大学法人岐阜県立看護大学、地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の業務方法書の変更について

報告 に従い事務局から説明

質疑応答

なし

看護大学及び看護大学関係の山岡専門委員退席

[議題3] 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の第3期中期計画(案)について

資料3に従い「予算、収支計画、資金計画、料金」を中心に各法人から説明

質疑応答

【渡部委員】

下呂温泉病院は、平成30年度に残業代の未払い分1.5億円の追給をしたが、現在は、残業代の未払いが生じないような対策はとれているのか。

【下呂 岩佐事務局長】

職員の労務管理のためタイムカードを導入し、時間外勤務の申請との乖離をチェックしており、適正に時間外勤務手当を支払っている。

【渡部委員】

予算計上されている144億円の人件費は、時間外勤務手当が過去5年間の実績よりも増えることを見込んで計上しているのか。

【下呂 岩佐事務局長】

そのとおり。

【渡部委員】

決算の時もお願いしたが、予算についても、第3期中期計画期間の収支を見るにあたって、第2期中期計画期間との比較が出来るようにすると分かりやすいのではないか。

【伊藤医療整備課長】

今後は、前期等との比較が出来るよう、事務局で資料を工夫させていただく。

【岩間委員長】

多治見病院と下呂温泉病院は、収支がそれぞれマイナス44億円とマイナス12億円となっているが、多治見病院は資産も増えているので、やむを得ないという判断でよいか。

【伊藤医療整備課長】

多治見病院は新中央診療棟の整備が第3期中期計画期間内に予定されているため、収支がマイナスとなるのも、ある程度は仕方ないと考えている。

【渡部委員】

今年度第3四半期が終わったところであるが、下呂温泉病院の収支は、今年度どれくらいになる見込みなのか。減価償却を含めた場合と除いた場合、キャッシュベースと損益ベースなどについて、分かれば教えてほしい。

【下呂 岩佐事務局長】

今年度は、常勤医師の逝去や消化器内科の医師が2名から1名へ減少したことなどから、収入が落ちている。12月末時点で、入院収益は対前年度比で1億2千万円の減少、人件費は研修医が2名増え4名となったことや職員の適切な労務管理の実施などにより約1億円増えている。

22億円あったキャッシュは（今年度末で）3億円弱減少する見込み。また、償却前収支については（12月末時点で）約1.5億円の赤字を見込んでいる。償却前収支の黒字化が当面の目標である。

しかし、令和2年4月から常勤医師を2名確保できる見込みであり、新年度のスタートにあたっては明るい兆しもあるので、職員一丸となって頑張っていきたい。

【岩間委員長】

本日も欠席されている富田委員より、予算に関するものではないが、「医師不足地域や医師不足診療科等への支援により、地域医療の確保あるいは県全体の医療体制の確保に努めていただきたい」との要望をいただいております。

それでは、地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の第3期中期計画(案)について、当委員会として意見書(案)のとおり知事に提出してよろしいか。

(異議なし)

以 上（終了時刻 11：07）